

病害虫防除所情報第3号

令和6年 6月 7日
山梨県病害虫防除所

【鳴沢村におけるコナガの誘殺状況とキャベツの防除対策】

コナガは、幼虫がアブラナ科の野菜類（キャベツ、ブロッコリーなど）、花き類（ストックなど）を食害するチョウ目の害虫である。

[発生の状況と今後の予想]

- (1) 鳴沢村のキャベツほ場のフェロモントラップによる4月の成虫誘殺数は2ほ場とも平年より多かった。5月の成虫誘殺数はほ場①では平年並であるものの、ほ場②では平年より多い（図1）。
- (2) 暖冬や春の高温傾向により越冬世代が多くなり、越冬世代の誘殺ピークが大きくなったと考えられる。次世代幼虫の発生も多くなるおそれがあり、防除にあたって注意が必要である。
- (3) 気象庁の1か月予報（令和6年6月6日発表）によると、向こう1か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並の見込みである。

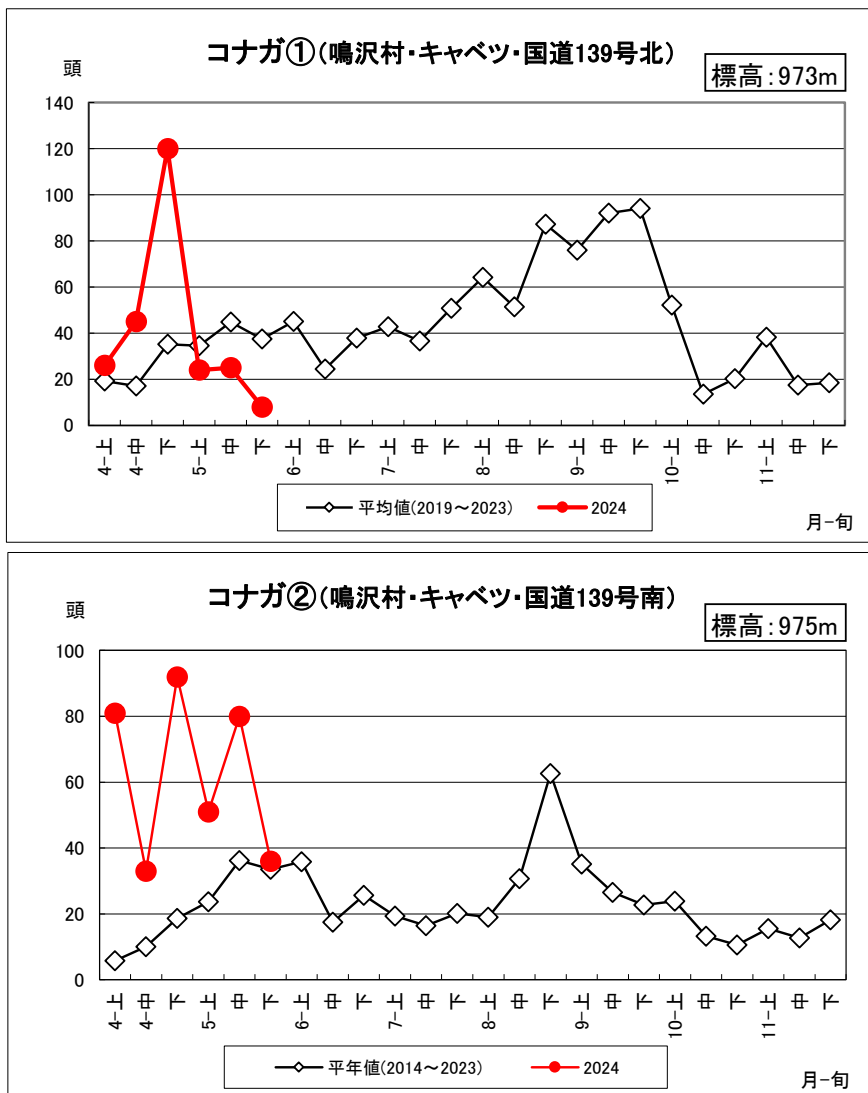


図1 フェロモントラップによるコナガの誘殺状況（鳴沢村）

[防除対策]

- 定植前や定植時の灌注剤処理や粒剤施用を行っていない場合、ほ場の観察に努め、適期に防除する。
- 食害痕を目安に幼虫の早期発見に努め、若齢幼虫のうちに薬剤散布を行う。コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいため、異なる系統によるローテーション散布を行う（表1を参照）。
- 防除実施後に薬効の低下が疑われる場合、別系統薬剤による散布を行う。
- 葉裏にも薬液が十分かかるように散布する。水和剤には必ず展着剤を加用する。
- アブラナ科雑草は、卵が産みつけられたり幼虫が潜んでいる場合があるため、発生源とならないよう、ほ場から持ち出し適切に処分する。
- 病虫害防除所ホームページのフェロモントラップ調査結果や、幼虫の写真を参考に、発生状況を確認し、適期防除に努める。
 - ・コナガのフェロモントラップによる調査結果
<http://www.pref.yamanashi.jp/byogaichu/00035185449.html>
 - ・コナガ写真
http://www.pref.yamanashi.jp/byogaichu/byogaichu_kaisetu/yasai_kaki/kyabetu_konaga.html

表1 キャベツのコナガに対する主な防除薬剤

系統 (RACコード)	農薬名	希釈倍数 (倍)	使用時期	使用回数
5	スピノエース顆粒水和剤	5,000	収穫3日前まで	3回以内
	ディアナスC	5,000	収穫前日まで	2回以内
6	アニキ乳剤	2,000	収穫3日前まで	3回以内
	アフーム乳剤	2,000	収穫前日まで	3回以内
11A	ゼンターリ顆粒水和剤	2,000	収穫前日まで	—
	エスマルクDF※ ₁	2,000	収穫前日まで	—
	エコマスターBT※ ₁	2,000	収穫前日まで	—
14	パダンSG水溶剤	1,500	収穫14日前まで	4回以内
	リーフガード顆粒水和剤	1,500	収穫7日前まで	3回以内
15	マッチ乳剤	3,000	収穫7日前まで	3回以内
22A	トルネードエースDF	2,000	収穫7日前まで	2回以内
22B	アクセルフフロアブル	1,000	収穫前日まで	3回以内
28	ベネビアOD	4,000	収穫前日まで	3回以内
	ヨーバルフロアブル	5,000	収穫前日まで	3回以内
30	ブロフレアSC	4,000	収穫前日まで	3回以内
UN	プレオフロアブル	1,000	収穫7日前まで	2回以内

※1 「野菜類」での登録

※ ラベルに記載されている倍率、使用回数、有効成分の総使用回数、注意事項等を守り、周辺作物や近隣への飛散防止に努める。